

令和7年10月7日 広報プロモーション課

送付文書 計3枚

報道機関 各位

立川市史編さん広報紙『たちかわ物語』最新号のご紹介 「戦後80年」の振り返りや地域の習俗を特集



▲『たちかわ物語』20号表紙

以下の市ホームページより、バックナンバーも含めてご覧になれます。

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/kankou/bunka/1003076/1003087.html>



←こちらからも
アクセスできます。

『たちかわ物語』とは、『新編立川市史』の編さん事業を紹介している広報紙です。

9月19日発行の20号では、2025年が“戦後80年”の節目にあたるため、第二次世界大戦末期から戦後にかけて立川市が「軍都」から「商都」へとどのように変化を遂げたかについて掲載しています。

また、冠婚葬祭などに用いる膳や椀などの道具を地域で共有した江戸時代以来の習俗について特集しています。

立川市の知られざる歴史や昔のさまざまな風習・出来事、まちのあゆみなどを“見て読んで学べて楽しめる広報紙”として、市内の学校での授業や高齢者施設のアクティビティなどでも活用いただいています。

本紙を通じて、立川市史刊行物や市史編さん事業のことを市内外により広くお伝えしたく、ぜひ、メディアの皆様取材等お取り上げをお願い申し上げます。

(詳細は「別添1」をご参照ください)

【問い合わせ先】

立川市文化スポーツ部 市史編さん室長 白井 貴幸

TEL 042-523-2111 (代表)

内線：4044

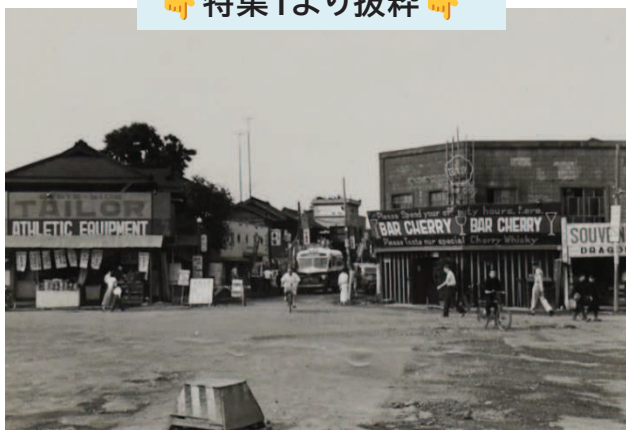
立川市史編さん広報紙『たちかわ物語』とは・・・

- 市史に紹介しきれなかった資料や各時代の歴史・民俗に関する特集のほか、市史編さんに
関連する講座・展示などの開催レポート、市民協働による「立川の史料を読む会」の活動、
市民の方から寄贈いただいた昔の写真などの紹介といった、立川市史編さん事業を市内外
に広くPRするための媒体です。
- 平成 28(2016)年より年 2 回発行。(A 4 判、12 ページ構成、フルカラー、無料配布)
- 市史編さん事業に取り組む 6 部会（先史、古代・中世、近世、近代、現代、民俗・地誌）
から、各分野に関する調査・研究の成果報告など、さまざまな特集記事を掲載しています。

9 月 19 日発行の最新 20 号「目玉コンテンツ」

- ✦ **特集 1** 戦後 80 年回顧企画として、「軍都」から「商都」へと変化した立川
市の激動の移り変わりについて、戦中戦後の人口推移をみながら紹介。
- ✦ **特集 2** 市内で冠婚葬祭などに用いる膳や椀などの道具を地域で共有し
た江戸時代以来の風習「共有膳椀」に関する調査・研究の成果を解説。
- ✦ **そのほか** 市史編さん関連講座『『新編立川市史』の古文書を読む』の初開
催や講演・写真展の開催レポートなどを掲載。

👉 特集 1 より抜粋 👉



▲1952(昭和 27)年頃、米兵向けの看板が並ぶ
立川市曙町二丁目交差点。まるでアメリカのよう
な通りでした。(所蔵:立川市歴史民俗資料館)

👉 特集 2 より抜粋 👉

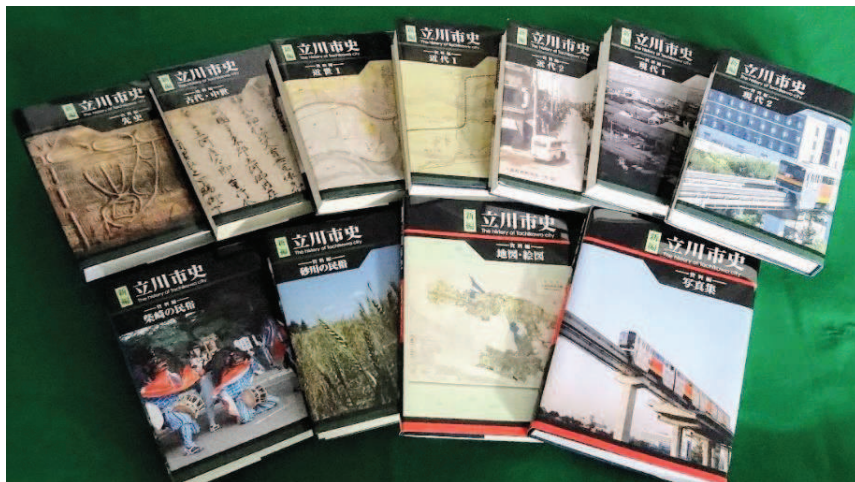


▲「共有膳椀」として活用されていた平椀や高
足膳、膳・椀を収納していた布袋(ほてい)。
(所蔵:立川市歴史民俗資料館)

📞『たちかわ物語』のバックナンバー(1～19 号)も無料配布しています📞

- 市役所3階 市政情報コーナー
- 歴史民俗資料館などの市内生涯学習関連施設
- 立川市ホームページおよび「たちかわ電子図書館」でもご覧になれます。

これまでに刊行した『新編立川市史 資料編』のご案内



- 旧石器時代や縄文時代などについて記した『先史』
- 平安時代や戦国時代などの『古代・中世』
- 江戸時代の『近世1』
- 明治期以降の『近代1・2』および『現代1・2』
- 暮らしの中の文化を記録した『柴崎の民俗』『砂川の民俗』
- 資料形態別の『地図・絵図』および『写真集』

立川市史の刊行物および市史編さん事業に関する詳細はこちら👉

URL : <https://www.city.tachikawa.lg.jp/kanko/bunka/1003076/index.html>



↑ こちらからもアクセスできます。

立川市史編さん事業とその魅力

当市ではかつて、昭和 39(1964)年から市史編さん事業に着手し、先史時代から昭和 20 年代までの市の歴史や明治以来の地域の暮らしをまとめた『立川市史』上巻(昭和 43 年)・下巻(昭和 44 年)を刊行しました。それから半世紀ほどの間に新たな資料の発見や研究の進展があり、人びとの暮らしやまちの風景も大きく変化したため、先の市史刊行から半世紀ぶりとなる市史編さん事業を平成 27(2015)年より再び開始し、先史から令和の時代までをまとめる『新編立川市史』の編さんに取り組んでいます。

当市には、近代・現代に関する公文書が多く残されており、また国宝を有する数少ない自治体の一つでもあるなど、市史編さんにおいて大変有益かつ魅力的なコンテンツを備えています。これまでに『資料編』として 11 冊の市史を刊行し、令和 8 (2026)年から 11(2029)年までに 6 冊の市史を編さんしていく予定です。

メディアの皆様へ

本事業においては、知識や経験ある有識者・専門家のほか、市民および市外の方々のご協力が不可欠であり、大きな原動力となっています。さまざまな形で立川市史編さん事業にかかわってくださっている方々の存在についても、ぜひフォーカス（取材）していただけたら大変光栄です。